

平成21年4月30日公表

平成20年熊本県の海面漁業・養殖業生産量（概数）

－海面漁業・養殖業生産量は、前年に比べて740t（1%）減少－

【調査結果の概要】

- 1 平成20年（1月～12月）の熊本県における海面漁業・養殖業の生産量は9万1,830tで、前年に比べて740t（1%）減少しました。

これは海面漁業の漁獲量は増加したものの、海面養殖業の収穫量が減少したためです。

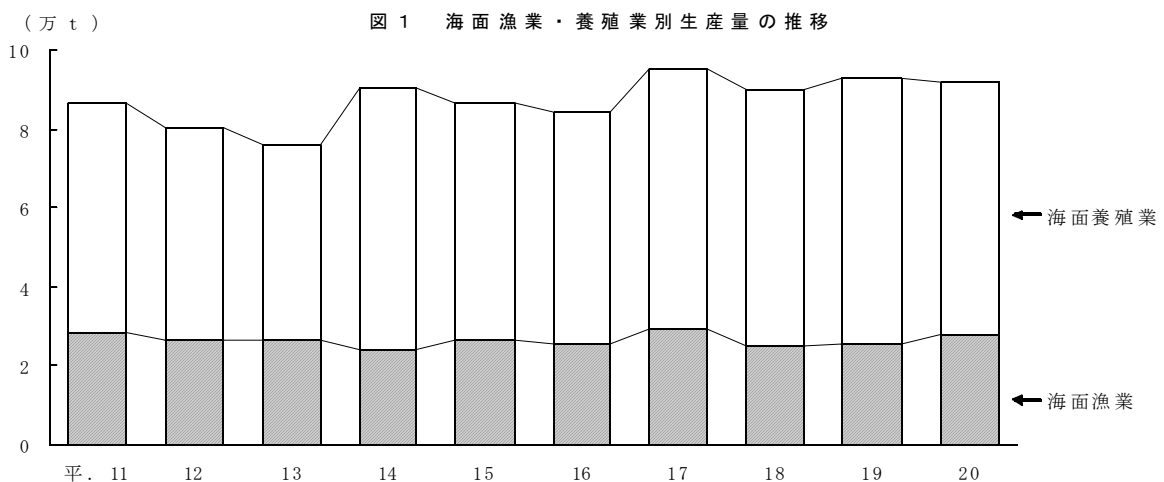
なお、生産量に占める海面養殖業収穫量の割合は69%となりました。

- 2 海面漁業の漁獲量は2万8,130tで、前年に比べて2,750t（11%）増加しました。

これは、うるめいわし、このしろ等が減少したものの、あさり類、かつお類及びしらす等が増加したためです。

- 3 海面養殖業の収穫量は6万3,710tで、前年に比べて3,480t（5%）減少しました。

これは、ぶり類、のり類等が減少したためです。



この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht_suisan_kumamoto.html】

本統計における調査の目的、調査の対象などは、「調査の仕様」P 7に掲載しております。

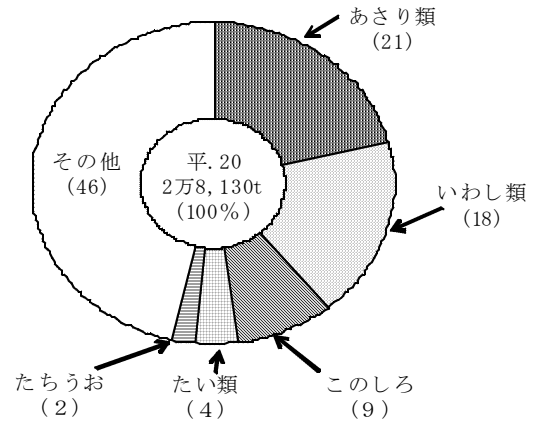
【解 説】

1 海面漁業漁獲量

平成20年の熊本における海面漁業の漁獲量は2万8,130tで前年に比べて、2,750t(11%)増加しました。

漁獲量に占める魚種別の構成割合は、あさり類が21%で最も高く、次いでいわし類が18%、このしろが9%、たい類が4%、たちうおが2%となっています。

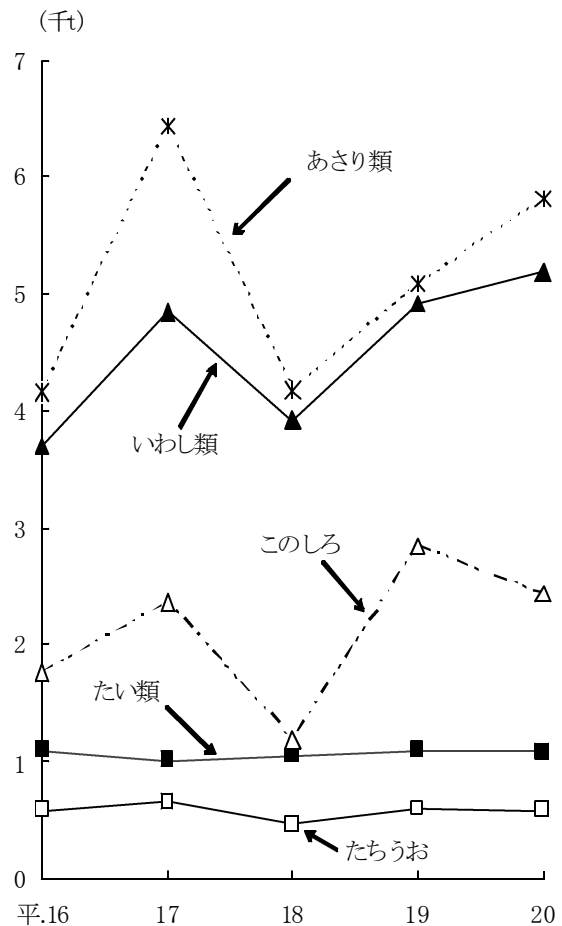
図2 魚種別漁獲量の構成割合



ア あさり類

あさり類の漁獲量は5,820tで、前年に比べて740t(15%)増加しました。これは、資源管理効果及び前年の稚貝発生が多かったためです。

図3 主な魚種別漁獲量の推移



イ いわし類

いわし類の漁獲量は5,190tで、前年に比べて280t(6%)増加しました。これは、しらす、かたくちいわしが増加したためです。

ウ このしろ

このしろの漁獲量は2,430tで、前年に比べて410t(14%)減少しました。これは、中・小型まき網、小型定置網で減少したためです。

エ たい類

たい類の漁獲量は、1,070tで、前年に比べて20t(2%)減少しました。これは、まだいが減少したためです。

オ たちうお

たちうおの漁獲量は、580tで、前年に比べて10t(2%)減少しました。これは、その他の網漁業、ひき縄釣で減少したためです。

2 海面養殖業収獲量

平成20年の熊本における海面養殖業の収獲量は6万3,710tで前年に比べて、3,480t(5%)減少しました。

ア のり類

のり類の収獲量は4万6,510tで、前年に比べて1,930t(4%)減少しました。

これは、収獲前に強風が続き一部のりが流されたことと、赤腐れ病等の被害拡大防止のため、のり網の一斉撤去が行われたためです。

イ ぶり類

ぶり類の収獲量は6,600tで、前年に比べて1,920t(23%)減少しました。

これは、価格の低迷、飼料高騰による規模縮小に加え、一部で赤潮の被害が発生したためです。

ウ まだい

まだいの収獲量は8,370tで、前年に比べて480t(6%)増加しました。

これは、他魚種から転換した経営体がみられたためです。

エ ふぐ類

ふぐ類の収獲量は550tで、前年に比べて50t(8%)減少しました。

これは、一部でエラ腐病が発生したためです。

オ くるまえび

くるまえびの収獲量は280tで、前年並みとなりました。

カ 真珠

真珠の収獲量は1,110kgで、前年に比べて40kg(4%)増加しました。

これは、大玉養殖へ移行した経営体がみられたことと、海水温が安定し生育が良かったためです。

図4 主な養殖魚種別収獲量の推移-1

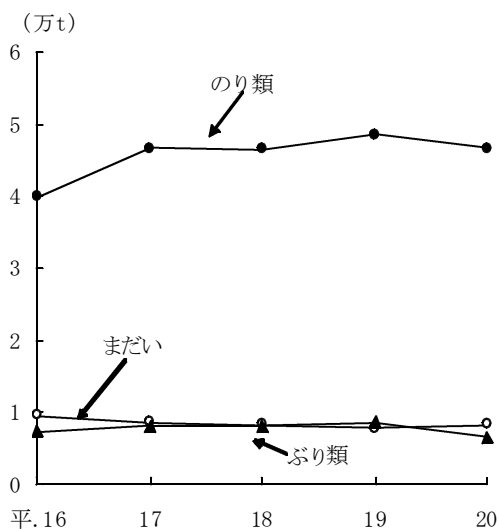


図5 主な養殖魚種別収獲量の推移-2

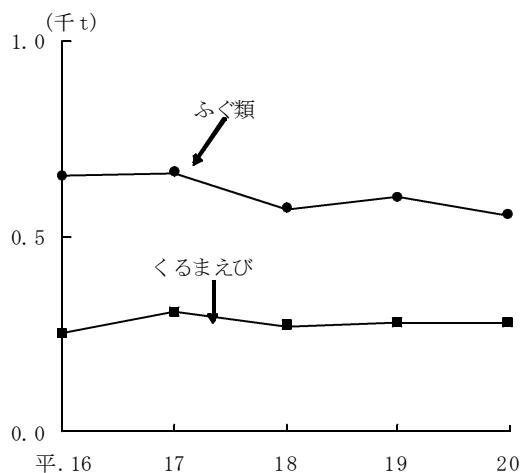
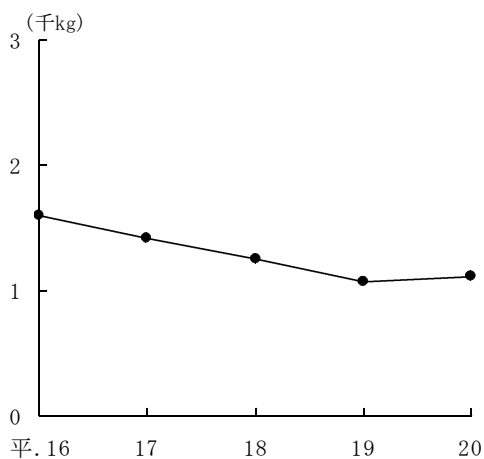


図6 真珠養殖収獲量の推移



【 統 計 表 】

1 海面漁業・養殖業生産量総括表

単位：10 t

| 年次 | 計 | 海面漁業 | 海面養殖業 |
|--------|-------------|------------|------------|
| 平. 1 1 | 8 647 (100) | 2 834 (33) | 5 813 (67) |
| 1 2 | 8 041 (100) | 2 645 (33) | 5 396 (67) |
| 1 3 | 7 601 (100) | 2 649 (35) | 4 952 (65) |
| 1 4 | 9 030 (100) | 2 403 (27) | 6 626 (73) |
| 1 5 | 8 640 (100) | 2 667 (31) | 5 973 (69) |
| 1 6 | 8 441 (100) | 2 532 (30) | 5 909 (70) |
| 1 7 | 9 498 (100) | 2 918 (31) | 6 580 (69) |
| 1 8 | 8 999 (100) | 2 482 (28) | 6 517 (72) |
| 1 9 | 9 257 (100) | 2 538 (27) | 6 719 (73) |
| 2 0 | 9 183 (100) | 2 813 (31) | 6 371 (69) |
| 対前年差 | △ 74 | 275 | △ 348 |
| 対前年比 | 99 | 111 | 95 |

注：()書きの数値は構成割合(%)です。

2 海面漁業

(1) 主な漁業種類別漁獲量

単位：10 t

| 漁業種類 | 平. 2 0 | 1 9 | 対前年差 | 対前年比(%) |
|---------|--------|-------|------|---------|
| 計 | 2 813 | 2 538 | 275 | 111 |
| 小型底びき網 | 174 | 172 | 2 | 101 |
| 船びき網 | 326 | 294 | 32 | 111 |
| 刺網 | 160 | 161 | △ 1 | 99 |
| その他の網漁業 | 343 | 327 | 16 | 105 |
| 小型定置網 | 80 | 85 | △ 5 | 94 |
| その他のはえ縄 | 94 | 97 | △ 3 | 97 |
| いか釣 | 17 | 9 | 8 | 189 |
| ひき縄釣 | 14 | 14 | 0 | 100 |
| その他の釣 | 144 | 145 | △ 1 | 99 |
| 採貝・採藻 | 760 | 580 | 180 | 131 |
| 上記以外の漁業 | 701 | 654 | 47 | 107 |

(2) 主な魚種別漁獲量

単位：10 t

| 魚種 | 平. 20 | 19 | 対前年差 | 対前年比(%) |
|-------------|-------|-------|------|---------|
| 合計 | 2 813 | 2 538 | 275 | 111 |
| 魚類計 | 1 808 | 1 732 | 76 | 104 |
| まぐろ類計 | 87 | 67 | 20 | 130 |
| かじき類計 | 6 | 7 | △ 1 | 86 |
| かつお類計 | 84 | 33 | 51 | 255 |
| かつお | 0 | 1 | △ 1 | 0 |
| そうだかつお類 | 83 | 32 | 51 | 259 |
| このしろ | 243 | 284 | △ 41 | 86 |
| いわし類計 | 519 | 491 | 28 | 106 |
| まいわし | 3 | 9 | △ 6 | 33 |
| うるめいわし | 92 | 145 | △ 53 | 63 |
| かたくちいわし | 239 | 202 | 37 | 118 |
| しらす | 184 | 135 | 49 | 136 |
| あじ類計 | 69 | 58 | 11 | 119 |
| まあじ | 67 | 56 | 11 | 120 |
| むろあじ類 | 2 | 2 | 0 | 100 |
| さば類 | 39 | 35 | 4 | 111 |
| ぶり類 | 27 | 29 | △ 2 | 93 |
| ひらめ | 19 | 15 | 4 | 127 |
| かれい類 | 18 | 21 | △ 3 | 86 |
| たちうお | 58 | 59 | △ 1 | 98 |
| たい類計 | 107 | 109 | △ 2 | 98 |
| まだい | 79 | 82 | △ 3 | 96 |
| ちだい・きだい | 17 | 15 | 2 | 113 |
| くろだい・へだい | 11 | 12 | △ 1 | 92 |
| いさき | 12 | 13 | △ 1 | 92 |
| すずき類 | 19 | 18 | 1 | 106 |
| ふぐ類 | 14 | 23 | △ 9 | 61 |
| 注) 上記以外の魚類 | 487 | 470 | 17 | 104 |
| えび類計 | 28 | 22 | 6 | 127 |
| くるまえび | 4 | 4 | 0 | 100 |
| 注) 上記以外のえび類 | 25 | 17 | 8 | 147 |
| かに類計 | 14 | 15 | △ 1 | 93 |
| がざみ類 | 10 | 11 | △ 1 | 91 |
| その他のかに類 | 3 | 4 | △ 1 | 75 |
| 貝類計 | 699 | 552 | 147 | 127 |
| あさり類 | 582 | 508 | 74 | 115 |
| 注) 上記以外の貝類 | 117 | 44 | 73 | 266 |
| いか類計 | 66 | 53 | 13 | 125 |
| するめいか | 8 | 2 | 6 | 400 |
| その他のいか類 | 58 | 51 | 7 | 114 |
| たこ類 | 67 | 55 | 12 | 122 |
| うに類 | 31 | 21 | 10 | 148 |
| その他の水産動物類 | 5 | 11 | △ 6 | 45 |
| 海藻類計 | 94 | 77 | 17 | 122 |
| その他の海藻類 | 94 | 77 | 17 | 122 |

注) 「上記以外の魚類」、「上記以外の貝類」及び「上記以外えび類」には、その他の魚類、その他の貝類、その他のえび類に加え漁獲量が少ない魚種も含んで計上しています。

3 海面養殖業

主な海面養殖業魚種別収穫量

単位：10 t

| 魚種 | 平. 20 | 19 | 対前年差 | 対前年比(%) |
|----------|-------|-------|-------|---------|
| 合計 | 6 371 | 6 719 | △ 348 | 95 |
| ぶり類 | 660 | 852 | △ 192 | 77 |
| まだい | 837 | 789 | 48 | 106 |
| ふぐ類 | 55 | 60 | △ 5 | 92 |
| その他魚類 | 9 | 11 | △ 2 | 82 |
| くるまえび | 28 | 28 | 0 | 100 |
| わかめ類 | 32 | 25 | 7 | 128 |
| のり類 | 4 651 | 4 844 | △ 193 | 96 |
| 真珠(10kg) | 111 | 107 | 4 | 104 |
| 上記以外 | 98 | 108 | △ 10 | 91 |

注：のり類については、生換算した重量です。

〔統計表の見方等〕

- 1 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。
- 2 表中に用いた記号は以下のとおりです。
 - 「△」は減少したもの
 - 「○」は単位に満たないもの

【調査の仕様】

1 調査の目的

海面漁業生産統計調査は、我が国の海面漁業、海面養殖業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政の資料を整備することを目的としています。

2 調査の対象

海面漁業生産統計調査のうち、海面漁業漁獲統計調査及び海面養殖業収獲統計調査は、原則、水揚機関を対象とし、水揚機関で把握できない場合に限り、海面漁業経営体を対象としました。

3 調査期間

調査期間は、平成20年1月1日～12月31日の1年間です。

なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、陸揚等のために港に入港した日の属する年に含めて調査を行いました。

4 調査方法

調査員調査及び往復郵送調査により実施しました。

(1) 水揚機関

統計調査員が調査客体に調査票等を配付し自計申告する方法、電子計算機又は紙に出力された記録を閲覧する方法、又は面接聞き取りの方法により実施しました。

(2) 漁業経営体

水揚機関で把握できない漁業経営体については、以下の方法で調査を実施しました。

ア 一括調査

統計調査員が調査客体に調査票等を配付し自計申告する方法、又は面接聞き取りの方法により実施しました。

イ 往復郵送調査

往復郵送調査により実施しました。

5 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は平成22年刊行予定の『第56次熊本農林水産統計年報』に掲載します。

【用語等の解説】

1 主な漁業種類の解説

(1) 底びき網漁業

底びき網を使用して行う漁業。遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、沖合底びき網漁業、小型底びき網漁業があります。

(2) 船びき網漁業

船を拠点として、船を一定のところに止めて網具を引き寄せるか、又は船を移動させながら網具を引き回して漁獲する漁業です。

(3) まき網漁業

魚類等を網具で包囲し、その逃路を断ち次第に包囲形を縮小して、これを採捕する漁業を総称して言います。大中型まき網漁業、中・小型まき網漁業があります。

(4) 刺網漁業

刺網を魚類等の遊泳通過するところを遮断するように張り、網目に刺させたり、からませたりして漁獲する漁業を言います。さけ・ます流し網漁業、かじき等流し網漁業等があります。

(5) 敷網漁業

漁具を海底に敷いて、集魚灯、まき餌等で魚群をその網上に誘致したり、衝撃音等で魚を網上に集め、網を引き揚げる漁業です。さんま棒受網漁業等があります。

(6) 定置網漁業

漁具を固定して行う漁業で、沿岸を回遊する魚類の進路を遮断し、魚群を沖合に誘導し、袋網内に落とし入れて漁獲する漁業です。大型定置網、さけ定置網、小型定置網があります。

(7) はえ縄漁業

幹縄に多数の枝縄を付け、この先端に釣針を結着した漁具を横に長く延べて行う釣漁業を言います。まぐろはえ縄等があります。

(8) 釣漁業

釣糸と釣針を有する漁具を使用し、餌又は擬餌等により水産動物を誘引し釣針にからませ漁獲する漁業を言います。かつお一本釣漁業、いか釣漁業、ひき縄釣漁業等があります。

2 海面漁業部門の解説

(1) 遠洋漁業

遠洋底びき網、以西底びき網、大中型遠洋かつお・まぐろ1そうまき網、遠洋まぐろはえ縄、遠洋かつお一本釣、遠洋いか釣、その他のはえ縄のうち日ロ民間操業に係る漁業、その他の漁業のうち大西洋はえ縄漁業を言います。

(2) 沖合漁業

10トン以上の動力漁船を使用する漁業のうち、遠洋漁業及び定置網漁業を除いたものを言います。

(3) 沿岸漁業

漁船非使用漁業、無動力船及び10トン未満の動力漁船を使用する漁業並びに定置網漁業を言います。

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課

電 話：(代) 096-353-3561 内線 4755

直通電話： 096-353-7576

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電 話：(代) 096-353-3561 内線 4724

直通電話： 096-353-7554